

5 東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ

東京2020パラリンピックに向けて、直前期にトレーニングをするために、インドネシアパラバドミントン代表選手7名が、2021年8月19日から8月26日にかけて、町田市内で事前キャンプを行いました。

インドネシアパラバドミントン代表チームが町田市でトレーニングを行うのは、2017年1月、2018年1月、2019年11月に続き、4回目です。過去の受け入れ経験を活かし、選手たちが集中できる環境を用意しました。

これまでの事前キャンプでは、市民交流の場をたくさん用意してきましたが、今回に関しては、新型コロナウイルス感染症対策を行う必要があったため、オンライン交流や、選手たちと十分に距離を確保しながら行った公開練習など、工夫を凝らして実施しました。



羽田空港お出迎え



市長が2階席観客席から選手を激励



練習施設内の日本文化装飾



オンライン交流の様子



公開練習の様子



選手集合写真

事前キャンプとは

各国のオリンピック委員会・パラリンピック委員会が、東京2020大会前の代表選手団のコンディショニング調整等のために任意で実施するトレーニング合宿です。

町田市では、トップアスリートとの交流により子どもたちに夢や希望を与えることができること、市民と外国との国際交流が生まれること、スポーツ祭東京2013で培ったボランティア活動を継続し、おもてなしの心を育むことができること、多くの人が町田市を訪れ、地域経済の活性化が期待できることなどから、2013年9月の東京2020大会開催決定直後から事前キャンプ招致を進めてきました。

事前キャンプ招致活動経緯

日程	内容
2013年9月7日	東京2020大会 開催決定
2013年9月9日	事前キャンプ招致を表明
2013年12月20日	第1回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催。事前キャンプ招致に向けオール町田で取り組む体制を整備。
2016年5月～	東京2020事前キャンプ地ガイドに市施設掲載
2016年6月19・20日	マレーシアU-22サッカー代表強化合宿受入れ
2016年10月23日～28日	ベトナム競泳代表強化合宿受入れ
2017年1月27日～2月2日	パラバドミントンインドネシア・日本代表合同合宿受入れ
2017年4月15日～17日	パラバドミントン日本代表強化合宿受入れ
2017年7月20日～23日	7人制ラグビー女子日本代表強化合宿受入れ
2017年9月7日～10日	JAPANパラバドミントン国際大会2017開催
2018年1月23日～26日	パラバドミントンインドネシア・日本代表合同合宿受入れ
2018年5月15日	インドネシアパラバドミントン代表チームの事前キャンプ実施に関する覚書締結
2018年8月27日	インドネシア空手代表チームの事前キャンプ実施に関する覚書締結
2018年9月26～30日	JAPANパラバドミントン国際大会2018開催
2018年11月8日	中国卓球・バレーボール・バドミントン・競泳代表チームの事前キャンプ実施に関する覚書締結（後にバドミントンを主として調整）
2018年11月29日	南アフリカ代表チームの事前キャンプ実施に関する覚書締結（陸上競技を中心に調整）
2018年12月17日	インドネシアバドミントン代表チームの事前キャンプ実施に関する覚書締結
2019年8月26日～9月4日	インドネシア空手代表チーム1年前プレキャンプ受入れ
2019年11月4～11日	インドネシアパラバドミントン代表チーム1年前プレキャンプ受入れ
2021年4月～	事前キャンプ選手等受入れマニュアルの作成
2021年4月～5月	インドネシアバドミントン・空手、南アフリカ、中国は練習スケジュールの調整等の結果、町田市で事前キャンプを実施しないことを決定
2021年8月19日～26日	インドネシアパラバドミントン代表事前キャンプ受入れ
2021年9月1日～5日	東京2020パラリンピックバドミントン競技開催 インドネシア代表は金2・銀2・銅2の好成績を収める
2021年9月6日	インドネシアパラバドミントン代表選手帰国

1 年前プレキャンプ

2019年にインドネシア空手代表チームとパラバドミントン代表チームが都内で行われた国際大会に合わせて来日した際に、東京2020大会における事前キャンプの運営等のテストを兼ねた1年前プレキャンプを実施しました。

(1) インドネシア空手代表チーム

1 練習について

実施期間 2019年8月26日（月）～9月4日（水）10日間

練習施設 サン町田旭体育館 2階 多目的室

宿泊施設 レンブラントホテル東京町田

選手団人数 選手6名、団長1名、コーチ2名 計9名（団長は8月29日来日）

2 交流事業について

実施日	場所	内容	参加者
8月28日（水）～ 9月3日（火）	サン町田旭体育館	練習見学	275名
8月29日（木）	真光寺中学校	選手学校訪問による交流会	328名
8月30日（金）	南第三小学校	選手学校訪問による交流会	120名
9月2日（月）	サン町田旭体育館	町田第三小学校との交流会	75名
9月3日（火）	小山中央小学校	選手学校訪問による交流会	130名
8月31日（土）	サン町田旭体育館	町田市空手道連盟児童交流会	58名
9月2日（月）	法政大学町田キャンパス	合同スパーリング練習	20名
			合計 1,006名



真光寺中学校



南第三小学校



町田市空手道連盟



小山中央小学校

(2) インドネシアパラバドミントン代表チーム

1 練習について

実施期間 11月4日(月)～11月11日(月) 8日間
 練習施設 サン町田旭体育館アリーナ
 宿泊施設 レンブラントホテル東京町田
 選手団人数 選手10名、コーチ・スタッフ4名 計14名

2 交流事業について

実施日	場所	内容	参加者
11月5日(火)～ 11月10日(日)	サン町田旭体育館	練習見学、体験会等	671名
11月9日(土)	町田第二小学校	選手学校訪問による交流会	100名
11月10日(日)	町田市立総合体育館	バドミントン交流会	80名
			合計851名



練習見学



練習後集合写真



町田第二小学校交流会



バドミントン交流会

東京2020大会事前キャンプ

(1) 事前キャンプ受入れに向けて

東京2020大会延期前においては、事前キャンプ実施に関する覚書を締結していたインドネシアバドミントン・空手・パラバドミントン、南アフリカ陸上、中国バドミンントンの3か国5競技の事前キャンプを受け入れる予定でした。

しかし、インドネシアバドミントン・空手、南アフリカ陸上、中国バドミンントンの3か国4競技については、東京2020大会延期に伴う練習スケジュールの調整等の結果、双方合意の上で事前キャンプ実施を見送ることとなったため、事前キャンプの受入れはインドネシアパラバドミントンのみとなりました。

(2) 選手等受入れマニュアルについて

事前キャンプの受入れにあたり、新型コロナウイルス感染症対策は選手等を保護し安全・安心な大会運営の実現を図る観点と、事前キャンプ受入れ自治体住民への感染防止の観点の双方にとって必要不可欠であり、その体制に万全を期する必要がありました。内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部は「ホストタウン等における選手等受入れマニュアル作成の手引き」を作成し、事前キャンプ受入れ自治体はその手引きを踏まえ、「選手等受入れマニュアル」を作成することが必須となったのです。

新型コロナウイルス感染症対策として、選手等受入れマニュアルに以下のような対策を定め、インドネシアパラリンピック委員会との合意を経て対策の詳細をまとめ、受入れ期間中の2021年8月21日に最終版の受入れマニュアル（全81ページ）が完成しました。

<選手等受入れマニュアルに記載した主な感染対策>

○事前キャンプ期間中の行程管理・行動制限

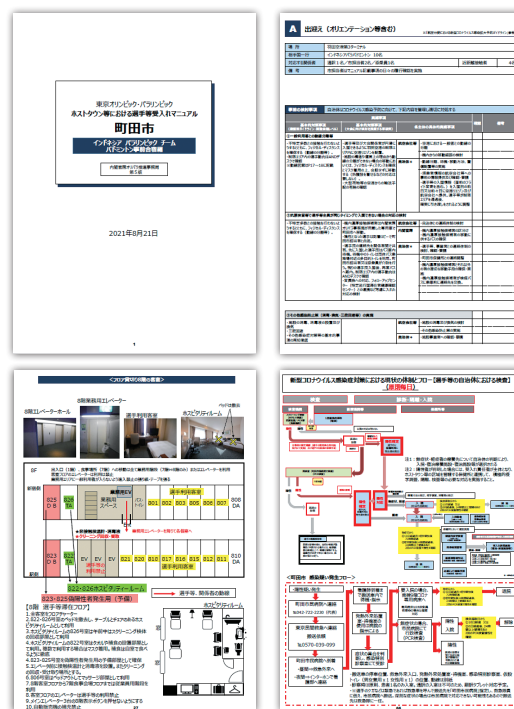
選手等と市民との接触を回避するため、行動範囲を練習施設と宿泊施設の往復のみに制限し、移動は専用車両を使用（選手団が外部の人と接触しない「バブル方式」で管理し、通訳1名と市職員1名をバブル内に配置）

○宿泊施設や練習施設における感染防止策の策定

選手等以外の者との接触を避けるための動線分離、宿泊施設はフロア単位の貸切

○選手等への定期的な検査、陽性時の対応フローの策定

○選手の感染リスクを考慮した市民交流に限定



受入れマニュアル抜粋

(3) インドネシアパラバドミントン代表チーム事前キャンプ

1 事前キャンプ概要

実施期間 8月19日(木)～8月26日(木) 8日間
 練習施設 町田市立総合体育館メインアリーナ
 宿泊施設 レンブラントホテル東京町田
 選手団人数 選手7名、コーチ・スタッフ3名 計10名

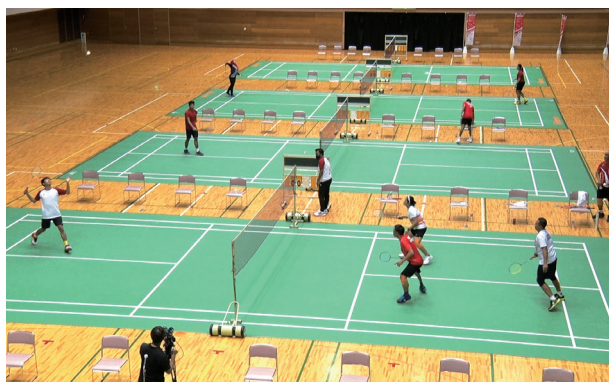
名前	出場種目	東京2020 大会結果	過去の町田市トレーニングキャンプ参加		
			2017	2018	2019
Ukun Rukaendi ウクン ルカエンディ	 男子シングルス SL 3	5位	○	○	○
Hary Susanto ハリー スサント	 男子シングルス SL 4 混合ダブルス SL 3-SU 5	5位 金メダル	○	○	○
Leani Ratri Oktilla レアニ ラトリ オクティラ	 女子シングルス SL 4 混合ダブルス SL 3-SU 5 女子ダブルス SL 3-SU 5	銀メダル 金メダル 金メダル	○	×	×
Khalimatus Sa'diyah カリマトゥス サディヤ	 女子シングルス SL 4 女子ダブルス SL 3-SU 5	5位 金メダル	○	×	×
Fredy Setiawan フレディ スティアワン	 男子シングルス SL 4	銅メダル	○	○	○
Dheva Anrimusthi デファ アンリムスティ	 男子シングルス SU 5	銀メダル	×	○	×
Suryo Nugroho スルヨ ヌグロホ	 男子シングルス SU 5	銅メダル	○	×	○

2 交流事業について

実施日	場所	内容	参加者
8月22日（日） 8月23日（月）	町田市立総合体育館	公開練習見学	425名
8月22日（日）	町田市立総合体育館	オンライン交流イベント	150名
			合計575名

来場者は2階観客席から選手の練習を見学しました。スマッシュや相手の逆を突くドロップショットなどが繰り出されると、観客席からは大きな拍手が起こりました。練習の合間には、来場者から集めた感想や選手に対する質問を発表する時間を設けることができ、選手と来場者による交流をすることができました。

また、8月22日に行ったオンライン交流では、子どもセンターと中継をつなぎ、子どもたちが選手たちに直接質問をする場面や選手たちからのメッセージを配信しました。オンライン配信を通して、練習会場に来ることができなかった方に対しても、選手との交流の機会を広く設けることができました。



事前キャンプ（コロナ対策を中心に）

日本でも感染者は増加していましたが、インドネシアの感染者数の増加はすさまじく、7月には国からコロナ流行国に指定されるほどで事前キャンプが終わるまで気が抜けない日々が続きました。

<入国前>

大会プレイブックに基づき、入国前14日間の健康観察と、出国前96時間以内に2回（うち少なくとも72時間前に1回）の検査で陰性であることが入国の条件でした。陽性となれば事前キャンプに来ることはおろか、大会出場自体もできなくなる恐れがあるため、インドネシアチームは8月初旬から徹底した隔離生活を送り大会に向けた準備を行ってきたと聞いています。

<入国～事前キャンプ>

入国した羽田空港での検査で陰性であれば晴れて入国することができます。1名でも陽性になると町田市での練習が難しくなることから、空港では冷や冷やしながらか今か今かと検査結果の連絡を待っていました。結果はめでたく全員陰性。無事10名全員の笑顔を見ることが出来てホッとしました。

事前キャンプ期間中は毎朝ホテルで唾液による抗原定量検査を行いました。検査結果は翌日届くことになっていましたが、毎日検査会社からの連絡をドキドキしながら待っていました。

コロナ対策の行動制限として移動はホテルと練習会場の往復のみに限定されたため、専用バス車内からの町田市内観光、チーム全員でのパラリンピック開会式中継の視聴、食事メニューの変更など、出来る限り選手の要望に応じてストレスの軽減に努

めました。

選手も楽しみにしていた市民との交流については、過去3回の合宿のような直接の交流はできませんでしたが、公開練習見学やオンライン交流イベントによる交流事業を行いました。

コロナ対策を行って実施した公開練習見学には、コロナ禍にも関わらず多くの方にお越しいただき、選手はとても喜んでいました。今まで交流してきた市民等も練習会場に駆けつけて応援している姿は感動的でした。

<選手村入村～大会>

コロナ対策を徹底したこともあり、事前キャンプ最終日までの毎日の検査は、無事全員陰性でした。最終日は選手村までお見送りし、無事選手村入村時検査でも陰性となったとの連絡を受けました。

大会本番では事前キャンプの練習を活かして7名中6名がメダルを獲得（金2・銀2・銅2）するなど、インドネシアチームが大活躍しました。

<帰国>

お見送りに行った成田空港ではメダルを見せてもらうサプライズ！選手達から「良い成績が収められたのは町田のおかげ」「また町田に来たい」という嬉しい言葉をいただき、笑顔でお別れしました。

